

キャンプファイアー実施要領

<準備物するもの>

・団体で準備するもの ※★は食堂で購入できます。

★ 砕木、★ 薪、★ 灯油、トーチ棒用タオルもしくはぞうきん（綿100%のもの）、ライターもしくはチャッカマン、軍手

・交流の家で貸し出しができるもの ※必要なものがありましたら事務室にお声がけください。

女神の衣装、ポータブルアンプ、マイク、コードリール、携帯・音楽用ジャック、灯油用・消化用バケツ、火ばさみ
トーチ棒（各団体10個まで）



女神の衣装（ドレス）



火の神の衣装（飾り）



ポータブルアンプ&マイク

※CD再生可



コードリール



トーチ棒



灯油用・消化用バケツ

<キャンプファイアー場とコンセント場所について>



吹上浜（A、B、Cの計3か所）

※写真は浜A地点



ボンファイアー場

※炊飯場奥



浜Aのコンセント場所

※吹上浜手前のフェンス左



浜B、Cのコンセント場所

※炊飯場から吹上浜の抜け道

<キャンプファイアーの流れ>

(1) 事前準備 ※当日までに

営火長（1名）、司会者（1名）、火の女神（1名）、分火係（4～6名程度）、営火係（2名）を決める。

(2) 当日準備（まき組み）

① 引率者もしくは営火係は事前にまきを組み、どのように火をつけるか考え、営火長や分火係に伝えておく。

※雨が予想され、ブルーシートをかけておく場合は事務所にお声がけください。

② 余ったまきがあれば、参加者が近づかない目印として組んだまきの周りに円を描くように置いておく。

③ 始まる前に、組んだまきに灯油をかけておき、火が着きやすいようにしておく。



井桁型



インディアン型

(3) 当日準備（トーチ棒・灯油）

① 事務所に声をかけ、トーチ棒をレンタルする。

② トーチ棒先の缶の中に持ってきたタオルもしくはぞうきん（綿100%のもの）を入れる。

<ハンドタオルの場合>

トーチ棒1本につき1/2枚

<ぞうきんの場合>

トーチ棒1本につき1枚程度。



③ 開始前に灯油をバケツに入れ、トーチ棒をさかさまに置き、タオルに灯油を染み込ませる。



<参考> トーチ棒の持ち方

※火が顔に近づくと危険なので、着火部分が顔から離れるようトーチ棒を斜めにしてお持ちください。



(4) 当日確認（営火係の役割）

営火係は、場面毎に火の大きさをコントロールしたり、火が消えないようにまきの調整をするため、開始前に進行の流れを担当と確認しておく。また以下の2点も準備しておく。

- ① 消火用バケツを用意し、もしもの時にすぐ火が消せるように準備をする。
- ② 営火係自身がやけどをしないよう軍手や革手袋を準備する。

(5) 進行例＜第1部・迎え火の儀式＞

- ① 担当者以外は静かに入場し、全員がファイアー台の周りに円を描くように並び。
※並び際は、火の女神、分火係が通れるスペースを空けておく。

- ② 司会は始まりの挨拶をし、みんなで【遠き山に日は落ちて】を歌い、火の女神や分火係を迎える。

※火の女神は火のついたトーチ棒、分火係は火のついていないトーチ棒を持って円の内側を通過して入場する。

- ③ 火の女神は営火長の前に立ち、火がついたトーチ棒を渡し、営火長の隣に移動する。
その後、分火係は営火長の前に並び。

- ④ 営火長はトーチの火を分火係のトーチに移す。

例) 営火長「あなたには友情の火を渡します。」

分火係「友情の火をいただきました。思いやりを忘れず、
いつまでも友達を大事にすることを誓います。」

※他の例は誓いの言葉一覧をご参考ください。

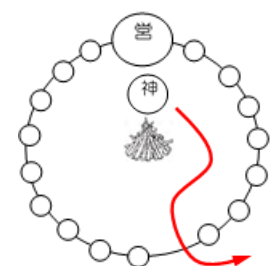
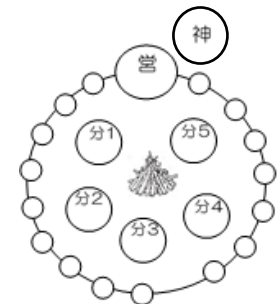
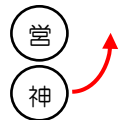
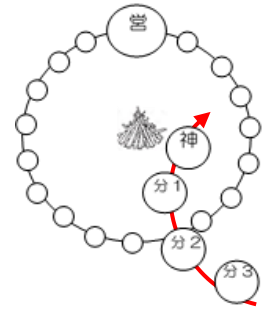
- ⑤ 火をもらった分火係は円の内側に均等に並び点火の準備をする。
- ⑥ 営火長はキャンプファイアーに対するおもいを述べた後、分火係に点火の合図をする。
- ⑦ 点火に合わせて、みんなで【燃えろよ！燃えろ！】を歌う。
- ⑧ 営火長、火の女神、分火係は退場し、司会は第2部に移るようアナウンスする。
※火がついているトーチ棒は水をはったバケツに入れ、消火しておく。

(6) 進行例＜第2部・交流＞

- ① 練習したスタンツやレクリエーションを行う。
- ② 営火係は火の燃え具合を確認し、まきを足していく。
- ③ 司会はスタンツ、レクリエーション終了後、円形に並びようアナウンスする。

(7) 進行例＜第3部・送り火の儀式＞

- ① 営火長はファイアー台の火をトーチに移し、キャンプファイアーのふりかえり、まとめをする。
- ② 火の女神は営火長から火のついたトーチを受取り、みんなが歌う【今日の日はさようなら】を聞きながらゆっくりと退場する。
- ③ 司会は終わりの言葉を述べ、全員退場する。



(8) 片付け

- ① 営火係と指導者は燃え残ったまきや炭を鉄板の中央に1つの場所にまとめる。
- ② 火が落ち着いたら鉄板の上にふたをかぶせ、風で火の粉が飛ばないようにする。
- ③ 使わなかった杵木やまき、灯油の残りは受取場所に返却する。

※ひもをほどいていないまきや杵木はご返却いただけます。清算には含まれません。

- ④ 借りた道具を元の場所に返却する。

☆誓いの言葉一覧

友情の火	友情の火をいただきました。 思いやりを忘れず、いつもでも友達を大切にすることを誓います。
感謝の火	感謝の火をいただきました。 いつまでも感謝の気持ちを忘れないことを誓います。
規律の火	規律の火をいただきました。 自らの心を引き締め、規律正しく生活することを誓います。
健康の火	健康の火をいただきました。 これからも心身ともに健康であり続けることを誓います。
努力の火	努力の火をいただきました。 何事にも、常に努力を続けていくことを誓います。
自由の火	自由の火をいただきました。 足元を見つめ、自分自身の道を歩んでいくことを誓います。
創造の火	創造の火をいただきました。 創意工夫を忘れず、常に新しい気持ちで生活していくことを誓います。
希望の火	希望の火をいただきました。 自分の夢に希望を持ち、一歩ずつ前進していくことを誓います。
勇気の火	勇気の火をいただきました。 強い身体と心をつくり、いつも勇気をもって頑張ることを誓います。

<活動の注意点>

- やけど防止のため、火の取り扱いには十分注意してください。
- トーチ棒は斜めにして持ち、火が落ちてこないように注意してください。
- 強風の場合はキャンプファイアーの実施は見送ってください。判断については交流の家事務室にご相談ください。
また実施できない場合には、キャンドルのつどいに変更できます。荒天時にキャンドルのつどいを実施する場合は、ご利用の一週間前までに教材申込書でろうそくやアルミホイルをご注文ください。
- プログラム進行は、交流の家から活動前の助言を行うことはできますが、実施については団体をお願いしています。進行等に不安がある場合は外部講師を呼ぶこともできますので、ご相談ください。
※講師料は90分で3,000円、30分延長ごとに1,000円かかります。